

「もしも」のときに 頼りになる、まちの公園

毎日多くの人々が集う公園には、市民の憩いの場としての役割だけでなく、さまざまな機能が備えられています。地震や大規模火災などの災害が起きたら…。そんな「もしも」のときに役立つ「公園の防災機能」を紹介します。



01

だいたくぼよんちようめこうえん 太田窪四丁目公園

南区太田窪4-1515-2

浦和競馬場に隣接し、やや高台にある太田窪四丁目公園。3,200㎡の広々とした敷地には、赤ちゃんのおむつ替えができるトイレのほか、災害時には**テントの設置ができるパーゴラ(日よけ)**やかまどになるベンチなどを備えた、防災拠点としても頼もしい「憩いのスポット」です。



AFTER
災害時にはベンチの中のテントを使ってこんな形になります!



BEFORE



稲垣奈美さん・凜花ちゃん

遊びに来ていた親子に話を聞きました!

2年前にさいたま市へ越してきました。家族で「非常時の集合場所」と決めている公園に、防災機能があると知ってビックリ! いざというときも安心ですね。



普段はユニークな遊具が子どもたちに人気の公園

02

みなみとじゅくなかよしこうえん 南元宿仲よし公園

桜区南元宿1-113-1

外周が芝生で囲まれた南元宿仲よし公園は、その名前の通りに、周辺の子もたちでにぎわいを見せています。近年、ソーラー式の照明灯をはじめ、緊急時のトイレ不足を緩和する「マンホールトイレ」を改修・設置し、有事への取り組みを図っています。



BEFORE



AFTER
マンホールは、非常時にトイレに変身!

03

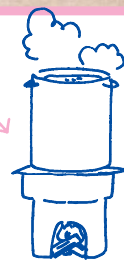
みどりがおかこうえん 緑ヶ丘公園

岩槻区大字岩槻5123-1

住宅街にある緑ヶ丘公園へは、東武野田線岩槻駅から歩いて15分ほど。道路を挟んだ西側には遊具が充実し、東側には平坦な多目的広場が広がります。園内には、子どもが遊ぶブランコや砂場だけでなく、親子や大人のための健康に役立つ設備も。「釜飯?」と見まごうスツールは、非常時に「かまど」として活躍します。



BEFORE



AFTER
このスツール、実は、炊き出しなどに活用できるかまどになります!